

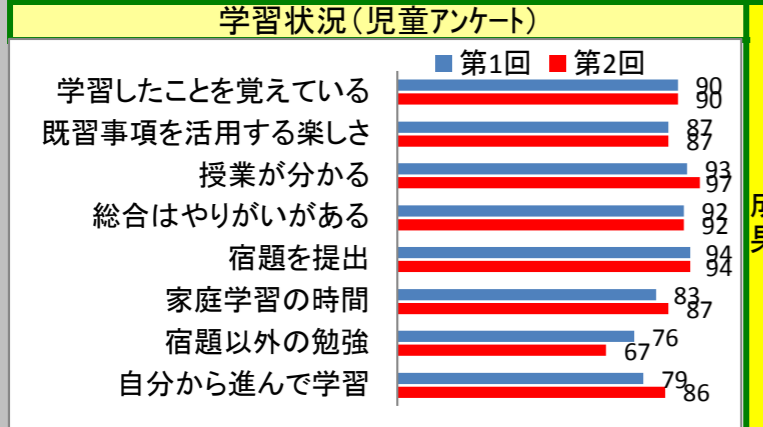
成果 分かる授業・活用型の授業実践・自ら進んで学習
学校が楽しい、いじめのない学校・共に活動する楽しさ

第2回学校評価・成果・課題・改善策

課題 発達段階に応じた「思考力・判断力・表現力」
適切なコミュニケーション能力(言葉遣い等)

※グラフと数値は、4段階のうち「十分に達成できた」「達成できた」と答えた%を示しています。80%に達することが一つの目安です

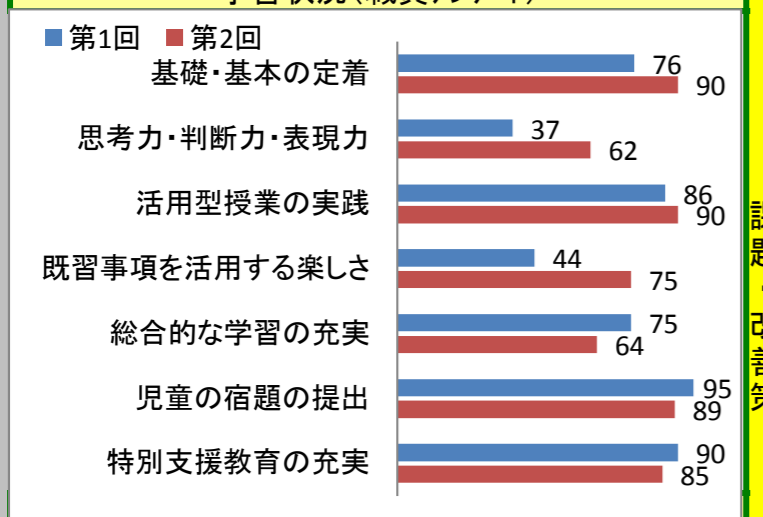
確かな学力



成果

- 基礎・基本の定着
- ほとんどの児童は授業が分かる
- 活用型の授業づくりに成果があり、既習事項を活用する楽しさを味わわせることができた
- 思考力・判断力・表現力が高まってきた
- 授業で「自ら進んで学習に取り組む」児童が79→86%に増加

学習状況(職員アンケート)

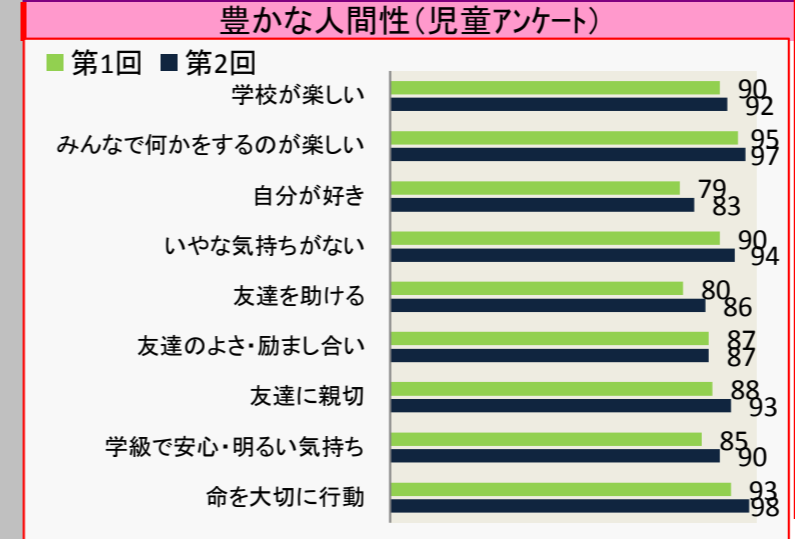


課題・改善策

- 発達段階に応じた「思考力・判断力・表現力」をさらに育成**
研究実践の成果が表れ、児童の発達段階に応じた「思考力・判断力・表現力」が高まってきました。さらに、次のような取組で能力を育成します。
○校内研修の成果と課題を吟味し、焦点化した取組
○「魅力ある学校づくり」事業と関連した取組
- 家庭学習の充実**
宿題をやっている94%のうち、「よくできている」児童は68%。「学年×10分」が「よくできている」児童は27%です。
○家庭学習の意義の指導
○「学年×10分」の充実
「宿題」をきとんと→余った時間で自主学習
- 「総合的な学習の時間」の充実**
「子どもに身に付けさせたい力」を吟味し、指導計画を見直します

○国、算は全国平均より上回っている。
○国語では「読む」「言語」が向上。算数では「数と計算」が特に優れている。下位群は減少したが、上位群は少ない。

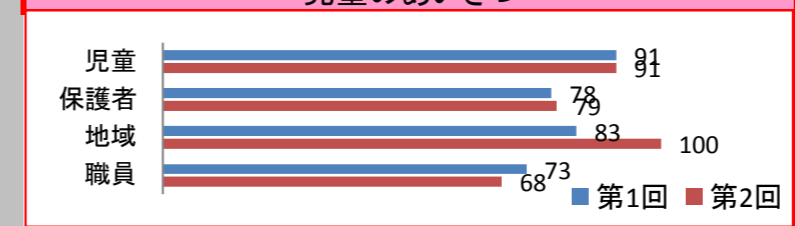
豊かな人間性



成果

- 学校が楽しい
- みんなで何かをするのが楽しい
- 学級が安心、ほっとする場
- 間違った行動への教師の適切な指導
- 自尊感情の向上79→83%
- 思いやりの心や命の大切さ
- いじめのない学校づくりの推進
- 生徒指導体制の確立

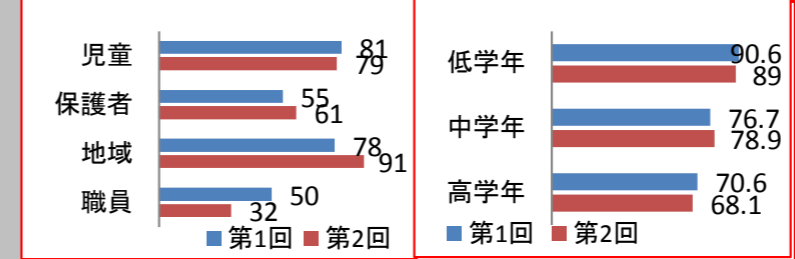
児童のあいさつ



課題・改善策

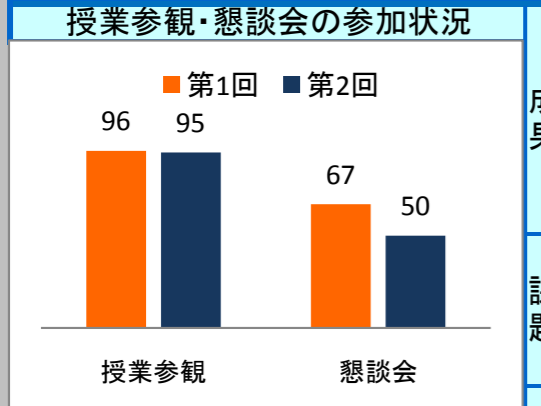
- ◎**「適切なコミュニケーション能力の育成」**
- 時と場に応じた適切な「言葉遣い」
○言葉遣いの大切さ
→人間関係をよりよくするために
・相手のことを考えた言葉遣い
・相手が気持ちよくなるような言葉遣い
○「ありがとう」を言えるように、全校で取り組みます

児童の言葉遣い



- 「あいさつ」の指導の充実**
今後も「あいさつ運動」を継続し、「あいさつのすばらしさ」や「4つの視点」を継続していきます。
- 元気な「返事」の指導の徹底**
「返事」の指導に力を入れてきましたが、まだ元気な返事ができない子ども目立ちます。今後も継続して指導していきます。

保護者等との連携



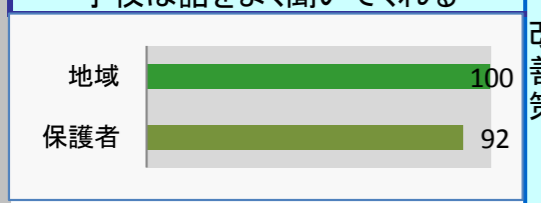
成果

- 授業参観の参加率は高い
- 保護者等の話をよく聞き、迅速に対応できた
- 通信等による情報提供ができた

課題

- 子供の学校での様子をより分かるようにする
- 懇談会の参加率(今後も工夫)

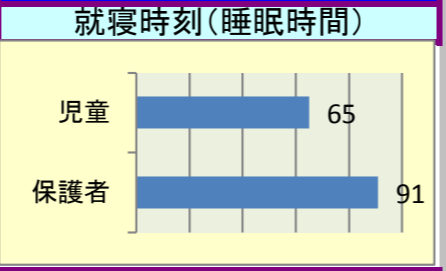
学校は話をよく聞いてくれる



改善策

- 懇談会の持ち方の工夫改善
- 積極的な情報提供の充実
・Webページの充実と啓発

健康・体力



成果

- ほとんどの子が朝食を食べてから登校
- 体力の向上

課題

- 就寝時刻が遅い

改善策

- 規則正しい生活、特に早寝・早起きの奨励
- なわとび等の冬季運動の促進

安全確保・施設設備

成果

- 地域と連携を図った交通安全指導
- 施設設備の安全
- 安全教育・安全指導

課題

- 保護者と連携を図った交通安全指導
- 歩行・自転車の乗り方(ヘルメット着用)

改善策

- PTAの安全対策の検討
- 自転車でのヘルメット着用の指導と保護者への啓発
- 新校舎の効果的な活用

生き方

成果

- 将来の夢や希望について考える機会が多くなった

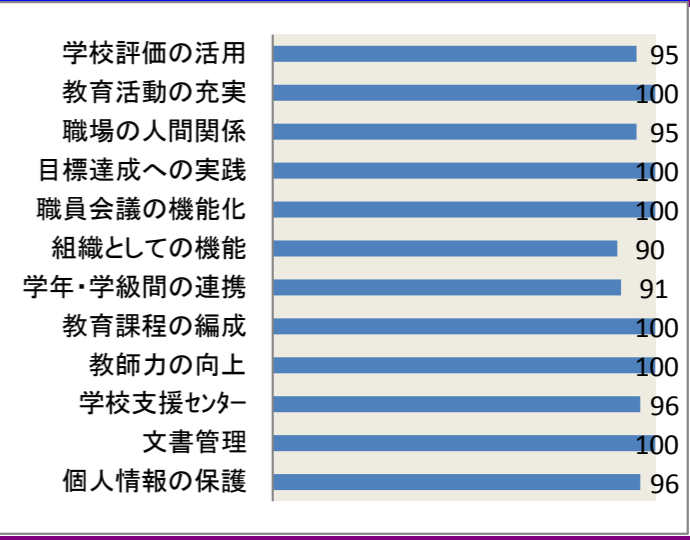
課題

- 生き方教育の充実と、夢や希望を話し合う働きかけ

改善策

- 夢や希望を話し合う機会の啓発

組織運営



○教育目標達成に向け、全職員一体となって教育活動に取り組んでいます。今後は、新教育課程完全実施に向け、全職員で協力して取り組んでいきます。

※改善策は、3月までに取り組む短期的な方策を記載しました。